

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ミアヘルサ保育園ゆらりん椎名町
施設所在地	東京都豊島区長崎一丁目10番8号
法人名	ミアヘルサ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

日常生活の中で「何の音？」という声をよく聞きます。現在は決まった音楽を聞くことが多いと感じているため、更に幅広い音を聞くことで興味関心を広げ、豊かな表現力が生み出されることを期待して選びました。

2. 活動スケジュール

令和6年12月1日～令和7年3月31日

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

楽器（スネアドラム、木琴、グロッケン、シンバル、ミュージックベル）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①身近な公園での音探し（椎名町公園・西池袋公園・上り屋敷公園・フラワー公園）
- ②音を絵で表現する 2回実施（各クラスと2クラス合同）
- ③身の回りにある物で音を作る（1人ずつ発表）
- ④楽器に触ってみる・使い方を知る
- ⑤簡単な曲を演奏
- ⑥演奏会を行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ①2クラス合同の3グループを作り音探しを行った。それぞれ好きな場所や気になる場所に行き自然物や水筒などを使い音を探していた。友だちを真似して音を出してみたり、その中で音の違いを発見することができた。
- ②聞きなじみのある音のときには「しってる!」「〇〇じゃない!」と子どもたちなりに正解を見つけていた。オーケストラの音など、様々な解釈ができる音では、「わからない」と描けない子の姿も見られたが、子どもたち同士で会話を楽しみ自由に表現する場面も多かった。

- ④初めての楽器に「やりたい!」と興味津々であった。教えてもらった使い方をしたり子どもたちなりに触れてみたりする姿が見られた。
- ⑤保育者が選曲して演奏を行った。
- ⑥演奏会に向けて子どもたちに選曲してもらった。楽器も子どもたちにやりたい楽器を決めてもらい行った。楽器を演奏することの難しさを感じ「できない」と言う子もいたが、練習を重ねると徐々にできるようになり嬉しそうな表情を浮かべていた。練習を楽しみ「もっとやりたい!」と言う子もいた。演奏会では、他クラスにも見てらうことができ、音を作り演奏することの楽しさを知ってもらうことができた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段は公園に行っても遊ぶことに集中し周りの音に耳を傾けることが少なかったため、子どもたちも「これってこんな音するんだね!」などと子ども同士で話し、新しい音を探したり気付いたり興味を上げていくことができていた。新しい楽器に触れていく際も、よく知っている楽器はどんな音がするかや音の出し方などを知っている子が多かったが、触れたり見たりする機会が少ない楽器は音の出し方や持ち方を試行錯誤している姿も見られた。保育者に言われて行動するのではなく、自分で気付き、「やりたい」「知りたい」と感じた子どもたちは主体的に活動を広げ進めていくことができていた。今後も子どもたちの声を大切に探究心を育てていきたい。